

CMS(Contents Management System) 入門

稚内北星学園大学

金山典世

1 CMSとは

CMSとは、文字通りウェブ上のコンテンツを管理するシステムです。こうしたシステムの登場の背景は、元々のウェブシステムがUnixのファイルシステムをそのままソースとして外部に見せるシステムであった点に問題がありました。Unixのファイルシステムをそのまま使うという仕様は、実装としては簡単になるという利点がありましたが、ファイルシステムをそのまま使うということによって、そこへのアクセスにはUnixのアカウントが必要であるということや、管理手法もディレクトリによるファイル単位での管理になるという問題を持っていたからです。これは例えばメールが大昔は単に配送だけのプロトコルとして登場し、ユーザは全てUnix上のファイルを、ツールを使うか否かは別にして、直接読み書きしていた事情に良く似ています。こうしたUnixのユーザであることを要求するシステムは、メールの普及と共に障害となり、メールを読むためのプロトコル(POPやIMAP)の登場を促したのです。このように限界性をもったサービスは、結局の所ユニバーサルなサービスになることを、その普及や拡大と共に要求されていくのは当然と言えば当然のことなのです。即ち、ウェブの管理も、そのウェブサーバが稼働しているOSの詳細に拘わりなく行えるようになるべきであり、それによって初めて更に広範囲に普及していくという性質を持っているものであるということです。

このようにCMSとは、簡単に言えば、ウェブの管理や運用、利用がそれ自体の中で閉じていることを志向したシステムであると言えます。このような要請は、ウェブのコンテンツがURLというディレクトリに似た構造を持っていても、それとは無関係にコンテンツを蓄積するシステムを要求するために、多くの本格的なCMSはコンテンツをデータベースの中に持ち、URLはある論理的な意味しか持たず、場合によってはコンテンツはオンデマンドで作成される場合もあります。このようなCMSの特徴は、管理者が特別な知識を持っていないと管理できないものであるものから、より広範囲に利用できることを希求した結果であり、実社会の要請であるとも言えます。つまりは、実社会における組織や構造の要求に応えるのがその方向であり、逆に言えばそうした要求に応えないシステムは時代遅れであるとすら言える訳です。

フリーに利用できるCMSもたくさんありますが、今回取り上げるJoomlaは、2006年のオープンソースCMSで優勝したものであり、非常に注目度の高いシステムであると言えます。その他のCMSとしては、TYPO3がヨーロッパでは人気が高まりつつあるようですが、拡張機能が様々な言語で開発されているために日本人にはまだ少し敷居が高いように思われます。勿論、この他にもPlone、TEXTPATTERN、MODx、Geeklogなども定評があるようです。

Joomlaは、元々はMamboというCMSから派生したものであり、そのために1.0ではMamboから受け継いだ部分と、新たに開発された部分が混在しています。バージョン1.5で、そうした部分を一新すると言われていますが、現在1.5RC2が公表され、日本語対応(多言語対応なので言語パックを付加するだけ)が待ち望まれています。

2 インストール

このフォーラムでは、FreeBSD6.2上にJoomlaを導入します。FreeBSDはVMplayerを用いて、各自のPC上で動作するようにし、インストール後は全てWindows上のブラウザから操作します。

2.1 インストール前準備

Joomla はいわゆる LAMP アプリケーションです。(Linux, Apache, MySQL, Php を使って構築されたアプリケーションを頭文字を取って、LAMP と呼びます)。しかし、LAMP アプリケーションはよほど特殊でない限り、BSD 系でも動きます。そして、BSD で動くならば、安定的な BSD 系で動かすのもサーバにとっては良い選択となるでしょう。一方、BSD 系で LAMP を動かすためには、それなりに知識が必要です。今回もパッケージからのインストールでは難しく、ポーツという半自動化したコンパイルを可能にする FreeBSD の仕組みを使って、オプションを指定して導入をしています。詳細は付録にありますので、これから FreeBSD で Joomla をインストールしようと言う方は、この付録が役立つでしょう。一方、そうした事が大変だという方々には、Linux や Windows で Joomla を動かすしかないでしょう。特に、Linux や Windows では、Joomla のサポートのみを考えたシステムがありますので、これを利用すると知識のない人でも楽に導入が出来ます。

- **参考** このシステムは XAMPP と呼ばれています。ネット上で検索すれば直に見つかります。Windows 用と Linux 用があります。

このフォーラムで配布している VMware(VMplayer) 用の FreeBSD は既に Apache, MySQL, PHP4 を導入し、それらの設定は全て終わっています。更に、Joomla 1.0.12JP をウェブのディレクトリに展開しています。(詳しくは付録参照)

但し、DVD に置かれた VMware(VMplayer) のファイルは書き込み可能でなければ動かすことが出来ませんので、まず DVD の中身全てをデスクトップ上に適当なディレクトリ (ここでは joomla とします) を作成し、そこに全てコピーをして下さい。

- **操作 1** デスクトップに joomla ディレクトリを作成する。
- **操作 2** 全ての DVD のファイルを上記の joomla ディレクトリにコピーする。
- **操作 3** 上記のディレクトリを開け、VM 構成ファイルをダブルクリックする。暫くすると、VMplayer の中で FreeBSD が立ち上がります。何が文句を言ってきたら、とりあえず YES を押しておけば良いでしょう。



これで、サーバが動き、サーバ上の付録に書かれている準備は全て終わっているので(通常 XAMPP で導入する場合などもここから始まります)、Joomla!のウェブインストーラを動かしてみましよう。

そのために、Joomla!をインストールしたサーバの IP アドレス (192.168.0.1 とします) を調べて、そこにブラウザでアクセスしてみます。このためには VM 上の FreeBSD に一度入る必要があります。

```
joomla0static VMware Player - CD-ROM (IDE 1:0) Floppy Ethernet Sound Adapter
Additional ABI support:.
Starting local daemons:.
Updating motd.
Mounting late file systems:.
Starting usbd.
Starting apache21.
[Thu Oct 04 10:52:34 2007] [warn] (2)No such file or directory: Failed to enable
the 'httpready' Accept Filter
Starting mysql.
Configuring syscons: keymap blanktime.
Starting cron.
Local package initialization:.
Additional TCP options:.
Starting default mouse:.
Starting background file system checks in 60 seconds.

Thu Oct 4 10:52:39 JST 2007

FreeBSD/i386 (localhost) (ttyv0)

login: root
Password:
Login incorrect
login: root
Password:
```

To direct input to this virtual machine, press Ctrl+G

(印刷の都合上、白黒反転しています。)

VMplayer に入るには、ウィンドウの内部の任意の位置をクリックする必要があります。ちなみに、VM-player から抜けて、Windows に戻るには Ctrl キーと Alt キーの両方を押します (マウスカーソルの形が変わるので分かると思います)。

FreeBSD に入れたら、login 名は root で、パスワードには wakhok を指定して下さい。うまく入れたら、以下ようになります。

```
Welcome to FreeBSD!
```

```
Before seeking technical support, please use the following resources:
```

- o Security advisories and updated errata information for all releases are at <http://www.FreeBSD.org/releases/> - always consult the ERRATA section for your release first as it's updated frequently.
- o The Handbook and FAQ documents are at <http://www.FreeBSD.org/> and, along with the mailing lists, can be searched by going to <http://www.FreeBSD.org/search/>. If the doc distribution has been installed, they're also available formatted in `/usr/share/doc`.

```
If you still have a question or problem, please take the output of 'uname -a', along with any relevant error messages, and email it as a question to the questions@FreeBSD.org mailing list. If you are unfamiliar with FreeBSD's directory layout, please refer to the hier(7) manual page. If you are not familiar with manual pages, type 'man man'.
```

```
You may also use sysinstall(8) to re-enter the installation and configuration utility. Edit /etc/motd to change this login announcement.
```

```
localhost#
```

- 操作 4 FreeBSD に root でログインする。

さて、いよいよこの FreeBSD のサーバの IP アドレスを調べましょう。コマンド行に `ifconfig` と入力して下さい。すると、以下のように先頭が `em0` の行の 2 行下に `inet` の行があり、`inet` の後ろがサーバの IP アドレスです。全員 IP アドレスは異なりますので、注意して下さい。

```
localhost# ifconfig
em0: flags=8043<UP,BROADCAST,RUNNING,SIMPLEX,MULTICAST> mtu 1500
    options=b<RXCSUM, TXCSUM, VLAN_MTU>
    inet 192.168.229.138 netmask 0xfffff00 broadcast 192.168.229.255
    ether 00:0c:29:c9:d3:69
    media: Ethernet autoselect (1000baseTX <full-duplex>)
    status: active
plip0: flags=108810<POINTOPOINT,SIMPLEX,MULTICAST,NEEDSGIANT> mtu 1500
lo0: flags=8049<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST> mtu 16384
    inet6 fe80::1%lo0 prefixlen 64 scopeid 0x3
    inet6 ::1 prefixlen 128
    inet 127.0.0.1 netmask 0xff000000
localhost#
```

(なお、上の図の IP アドレスは実験環境でのものなので、フォーラム会場での IP とは全く異なります。ここでは、上の図は無視して、192.168.0.1 と表示されたと思って以下の操作を説明します。)

- 操作 5 `ifconfig` を打ち、IP アドレスを調べる。

さて、これで IP が分かりましたので、一旦 FreeBSD から抜けます。

- 操作 6 Windows に戻る。(Ctrl+Alt)

そして、Windows 上でブラウザを立ち上げ、先に調べた IP アドレスのサーバにアクセスをします。

- 操作 7 ブラウザで、<http://192.168.0.1> にアクセスする。(但し、IP はそれぞれ違う)

すると、以下のような設置前チェックの画面になります。

設置前チェック

ライセンス

ステップ 1

ステップ 2

ステップ 3

ステップ 4

次へ >>

もう一度チェック

Joomla! 1.0.12JP Stable [Sunfire] 2007-02-21 00:00 JST

設置前チェック:

これらのアイテムが赤く強調されているなら修正して下さい。
修正しないとJoomlaのインストールに失敗する場合があります。

PHP version >= 4.1.0	Yes
- zlib compression support	利用可能
- XML support	利用可能
- MySQL support	利用可能
configuration.php	含込み可
- マルチバイト サポート	利用可能
Session save path	含込み可
/tmp	

バージョンチェック:

このチェックでは、チェック箇所は3つあり、最初の囲みの「設置前チェック」では Joomla!の要求する環境が整っているかどうかチェックされています。ここでは、全ての項目が可能あるいはYES になっている必要があります。(もし、PHP の項目で利用可能でなければ、PHP4 の作成しなおしが必要です。)

- 操作 8 設置前チェックで警告がないか、確認する。

なお、ここでは既に調整済みですので、警告は出ていない筈です。

一応、付録 2 にもし警告が出た場合の対処を記しておきます。

これらが解決していたら画面右上の「次へ」を押して、次に進みます。

設置前チェック

ライセンス

ステップ 1

ステップ 2

ステップ 3

ステップ 4

ライセンス

GNU/GPL License:

Joomla は GNU/GPL ライセンスでリリースされているフリーウェアです。

Table of Contents

- [GNU GENERAL PUBLIC LICENSE](#)
 - [Preamble](#)
 - [TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION](#)

この画面は、Joomla!のライセンスについての確認で、Joomla は GNU/GPL ライセンスに基づいています。但し、後ほど述べますがエクステンションと呼ばれる拡張機能については、GPL である場合もあり

ますし、商用で販売されている場合もあります。こうしたエクステンションの発展が Joomla! の活況を支えているとも言えます。

ライセンスの確認は確認だけです、そのまま次に進みます。

次の画面では、先に設定した MySQL データベースの設定などを入力します。

ステップ 1

MySQL データベース 構成設定:

Joomla!をサーバーに設置するには簡単な4ステップを完了させてください。

Joomla!をインストールするサーバーのホスト名を入力して下さい。

Joomla!に使用するMySQLデータベース名、ユーザー名、パスワードを入力して下さい。

Joomla!が使用するテーブルの頭文字を入力してインストールケースからテーブルの処理方法を選択して下さい。

完全に空のサイトを構築するかテストインストールで無ければサンプルデータをインストールして下さい。

ホスト名
localhost 通常は'localhost'

MySQLユーザー名
joomla 'root'か管理者に提示されたユーザー名

MySQLパスワード
wakhok セキュリティの為、mysqlアカウントにはパスワードを必ず使用して下さい

MySQLデータベース名
Joomla 1サイトに一つのDBのホストもあります。この場合は複数のJoomla!サイトにテーブル頭文字を使用して下さい

MySQLテーブル頭文字
jos_

テーブルを空にする

テーブルバックアップ 以前Joomla!をインストールしたならテーブルをバックアップ後インストールします。

サンプルデータ Joomla!初心者ならチェックしたままにして下さい。

次へ

先の例では、ホスト名は localhost, MySQL ユーザー名は joomla (小文字), MySQL パスワードは wakhok, MySQL データベース名は Joomla (先頭一文字が大文字に注意) になります。更に、一番下のチェックボックスを見てみると、デフォルトではサンプルデータのインストールにチェックが入っているはずですが、ここにチェックがあれば、サンプルデータがインストールされますので、このフォーラムではサンプルをインストールします。Joomla に馴れて来たら、空のデータベースから作った方が楽になるかも知れません。そういう場合には、このチェックボックスを外します。

- 操作 9 データベースのユーザー名、パスワードなどを入力する。

設定が間違いなければ、次を押し、出てきたダイアログボックスで'OK'をクリックします。



ステップ 1

次へ

MySQL データベース 構成設定:

Joomla!をサーバーに設置するには簡単な4ステップを完了させてください。

Joomla!をインストールするサーバーのホスト名を入力して下さい。

Joomla!に使用するMySQLデータベース名、ユーザー名、パスワードを入力して下さい。

Joomla!が使用するテーブルの頭文字を入力してインストールケースからテーブルの処理方法を選択して下さい。

完全に空のサイトを構築するかテストインストールで無ければサンプルデータをインストールして下さい。

ホスト名	<input type="text" value="localhost"/>	通常は'localhost'
MySQLユーザー名	<input type="text" value="joomla"/>	'root'か管理者に提示されたユーザー名
MySQLパスワード	<input type="text" value="wakhok"/>	セキュリティの為、mysqlアカウントにはパスワードを必ず使用して下さい
MySQLデータベース名	<input type="text" value="Joomla"/>	1サイトに一つのDBのホストもあります。この場合は複数のJoomla!サイトにテーブル頭文字を使用して下さい
MySQLテーブル頭文字	<input type="text" value="jos_"/>	
<input type="checkbox"/>	テーブルを空にする	
<input type="checkbox"/>	テーブルバックアップ	以前Joomla!をインストールしたならテーブルをバックアップ後インストールします。
<input checked="" type="checkbox"/>	サンプルデータ	Joomla!初心者ならチェックしたままにして下さい。

- 操作 10 データベースの確認に YES を押す。

もし、ここでデータベースの作成に失敗などがあると、うまくデータが作成されず、エラーになりますので、その際にはもう一度データベースの作成をやり直して下さい。(同じ名前があるとうまく作成出来ないかも知れません。データベース名や、ユーザー名を変えると良いでしょう。データベースやユーザーの削除には phpMyAdmin などのツールが便利です。)

次の画面では、Joomla!サイトの名前を入力します。スペースも含めて指定できるので、他の人と区別できるように、自分の名前などを指定して下さい。

- 操作 11 サイト名を決める。

ステップ3では、デフォルトで設定されている項目以外では、管理者のメールアドレスと、管理者のパスワードが必要です。特にパスワードは重要ですので、忘れないようにして下さい。

- 操作 12 管理者のメールアドレス、パスワードを入力する。

なお、管理者はユーザー名は admin で、後で述べますが Joomla! の中では最高のレベルの管理者になります。メールアドレスは同じメールアドレスを使い回す事は出来ませんので、注意してください。

以上の作業が終われば、インストールは終わりですが、最後にインストールディレクトリの削除を要求されますので、再び VMplayer の FreeBSD の画面をクリックして FreeBSD に入ってから、以下のようにサーバ上で削除を行います (移動でも構いませんが)。

- 操作 13 FreeBSD 上で以下のコマンドを実行する。

```
# cd /usr/local/www/data  
# rm -rf installation
```

以上で、Joomla のインストールは全て終わりです。

次からは、Joomla で実際のサイトの構築を見てみましょう。そのために、右上の管理者エリアをクリックしてください。

3 サイトの構築

管理者用のページへのアクセスは、

```
http://192.168.0.1/administrator/
```

です。アクセスすると、次のようなログイン画面になりますので、先に設定した管理者のユーザ (admin) とパスワードで入ってみてください。



ここで表示される画面が、管理画面のトップページです。

Joomla! Administrator VERSION 1.8

Home サイト メニュー コンテンツ コンポーネント モジュール マンボット インストーラ メッセージ システム Help 0 0 0 0 **ログアウト**
admin

sample Joomla / com_admin

コントロールパネル

コンテンツアイテム追加	コンテンツアイテム管理	静的コンテンツ管理
フロントページ管理	セクション管理	カテゴリ管理
メディア管理	ゴミ箱	メニュー管理
ランゲージ管理	ユーザ管理	グローバル・コンフィグレーション

ログイン	コンポーネント	コンポーネント	人気
人気	最新アイテム	最新アイテム	メニューステー
メニューステー			
ログインユーザ			
1	admin	Super Administrator	✖
<< 最初 < 前へ 1 次へ > 最後 >>			
表示 #	30	結果 1 - 1 of 1	

3.1 ユーザ管理と記事の投稿

まず、最初にユーザを作成しましょう。Joomla では、ユーザは次の 5 種類に分かれています。

- ゲスト
ログインしない一般のユーザ
- 制限ユーザ (registered)
ログインするが、記事の投稿は出来ない。一般には公開していない記事を見ることが出来る。
- 記者 (author)
記事を投稿出来る、自分の記事は編集も出来る。公開の権限はない。
- 編集者 (editor)
記者の権限を持つが、その他に他の記者が投稿した記事を編集出来る。
- 公開者 (publisher)
編集者の権限に加えて、最終的に記事を公開する権限を持つ。

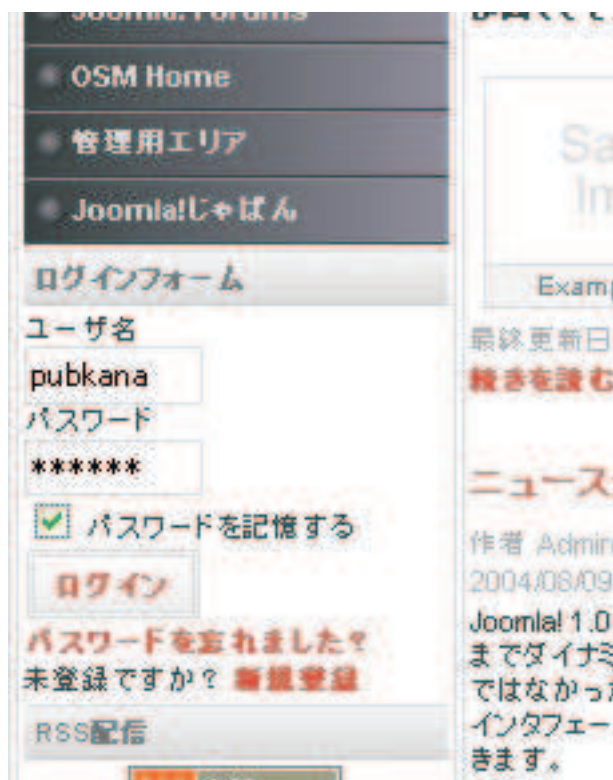
つまり、上から順により高い権限を持っていることが分かります。今は、管理者の権限でログインしています (管理者にも階層がありますが、それは後で述べます) ので、管理者はこれらのユーザを登録する権限があります。まず、一番権限の高い公開者 (publisher) のユーザを作成しましょう。

アイコンのユーザー管理をクリックすると、ユーザ管理画面になります。今のところ、ここには管理者である admin のみが登録されている筈ですので、右上の新規ボタンを押して、新しいユーザを登録しましょう。

ここでは、以下のようにそれぞれの項目を入力します。但し、メールアドレスは既に登録したユーザと同じアドレスでは登録できないようなので、ここではダミーのメールアドレスを登録しています。グループは **Publisher** を選んでください。右側のドロップダウンリストは標準で利用するエディタを指定できますが、今のところは全て **TinyMCE** という WYSIWYG エディタを利用することにします。パスワードを間違えると大変ですので (他のユーザも作成するので混乱しやすいです)、ここでは全部 **wakhok** しておきます。入力に問題がなければ、保存ボタンを押すと、保存され、一つ前のユーザ管理画面に戻り、今度は 2 人目のユーザである Publisher が追加されている筈です。

#	<input type="checkbox"/>	名前	ユーザ名	ログイン中	有効	グループ	E-Mail	最終訪問	ID
1	<input type="checkbox"/>	Administrator	admin	✓	✓	Super Administrator	kenayama@wakhok.ac.jp	-	62
2	<input type="checkbox"/>	pub kanayana	pubkana		✓	Publisher	pubkana@wakhok.ac.jp	-	63

さて、この状態で、別のブラウザ画面で同じ IP アドレスにアクセスし、今登録した Publisher のユーザとパスワードでログインしてみます。ログインはトップページの左下にあります。



ログインすると、今度はゲストで見たときとは少し画面が変わっている事が分かります。

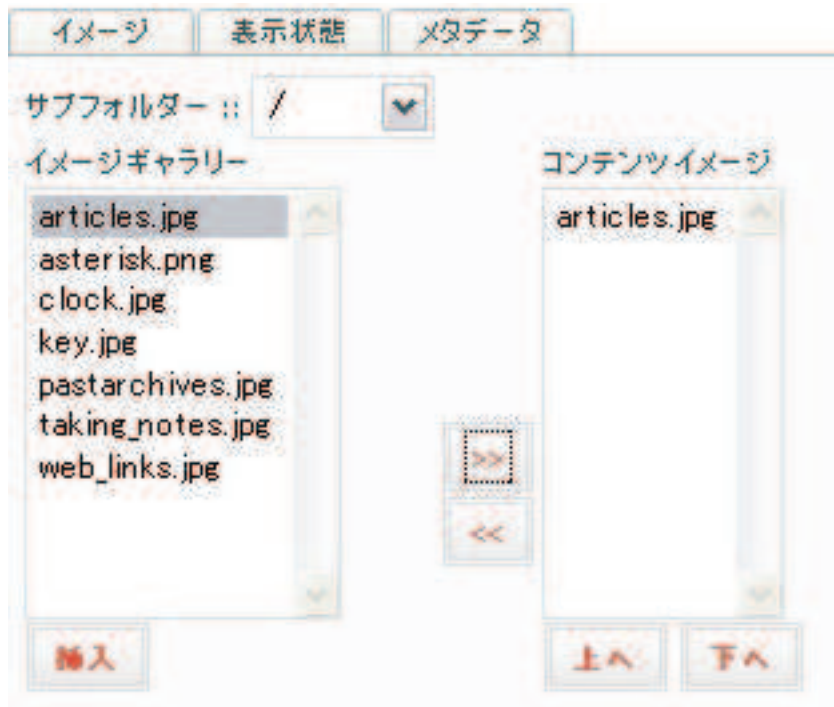


まず、左側のメニューにユーザメニューが追加されており、ニュースの投稿やリンクの登録が可能になっています。また、右側の記事のタイトルの右側にもアイコンが表示されるようになっています。まずは、このアイコンの所にマウスを持っていってみましょう。



すると、付箋紙のような表示がされます。これは、この記事が公開されたものであり、その開始日時や、投稿者などが表示されます。実は、このアイコンをクリックすると、この記事の編集画面になりますが (Publisher ですので、他の記事も編集出来るのです)、ここではまだアイコンをクリックしないで下さい。もし、クリックした人は、キャンセルボタン (×) を押して、元の画面に戻ってください。

さて、記者と公開者の違いを理解するためにも、実際に記事を書いて見ましょう。管理者でログインした方のブラウザに戻り、先程と同じようにして、今度は記者 (Author) のグループのユーザを登録して下さい。



但し、これだけではうまく表示はされません。再度、コンテンツイメージリスト内の article.jpg をクリックして下さい。すると、更に右側のイメージ編集の欄のファイル名に article.jpg が入りますので、その表示位置をドロップダウンリストから選択します。



最後に、適用ボタンを押すと、mosimage タグとリソースの関係が完全に Joomla 内部に登録されます。勿論、複数の mosimage タグを本文で指定した場合には、その数だけコンテンツイメージリストに登録し

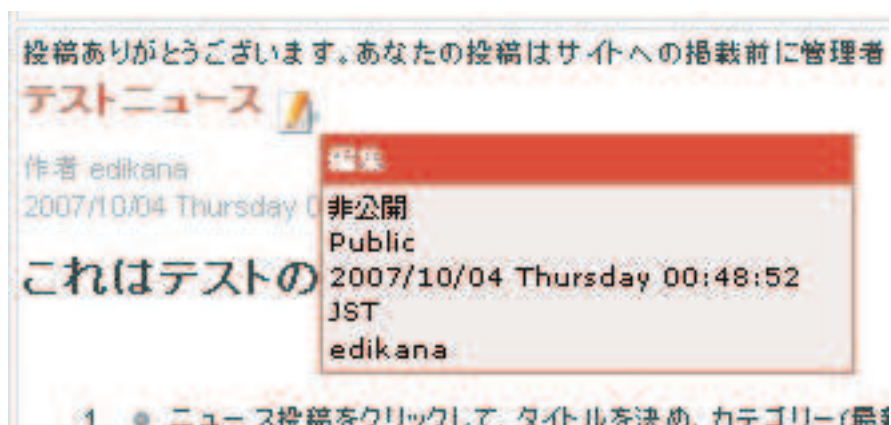
て、上記の手順を繰り返す必要があります。

さて、本文あるいは概要を適当に書いたら、実際にこの記事を投稿するために、先のイメージタグの隣にある **表示状態** タブをクリックして下さい。

イメージ	表示状態	メタデータ
アクセスレベル:	Public Registered Special	
執筆者別名:		
並び順:	1 (テストニュース)	
公開開始日:	2007-10-04 00:43:49	...
公開終了日:	Never	...
フロントページに表示:	<input type="checkbox"/>	

この画面では、アクセスレベル (要するにゲストに見えるのが Public で、登録ユーザのみに見えるのが Registered です、スペシャルはここでは割愛します) の選択や、公開の開始日、終了日、フロントページ (トップのページの記事に載るかかどうかです) などを設定します。開始日、終了日の右側にあるボタンを押すとカレンダーが出ますので、カレンダー内の日をクリックして日にちを指定することも出来ます。ここでは、フロントページに表示するようにチェックを入れて、フロッピーアイコンの保存ボタンを押してください。

さて、これで記事を投稿した訳ですが、投稿した本人にはこの記事編集するためにも見えるようにしておく必要があるために、投稿記事があたかもそこにあるように見えますが、先の Publisher で見たように、タイトルの右にあるアイコンにマウスを持っていくと、下の図のように実は **非公開** になっています。



このように、記事は投稿しても、公開者がそれを公開することに同意して操作をしなければ記事は公開されないという仕組みになっている訳です (これは特に外部にウェブを公開するような場合に大事な仕組みになっています)。勿論、公開者が公開の操作をしても、もし公開日が来ていない場合にも一般には見えません。

さて、では次に実際に公開者としてログインしなおして見ましょう。

ニュースのリストは標準では少し深いところにあり、左側にあるメインメニューのニュースをクリックして出てくる下の画面の中の 最新ニュースをクリックしてください。



すると、以下の図のような記事の一覧画面に移ります。この中のテストニュースの右側のアイコンにマウスを持っていくと、状態が非公開であることが分かりますので、この状態でクリックをします。



すると、先の記者が記事を作成したのと同様編集画面に移りますので、訂正するようなものがあればそれを行った上で、画面一番したのタブの表示状態をクリックしてみると、わずかたった一つの項目で

すが、記者や編集者とは異なる部分があり、それが最初の項目の **状態:** です。そして現在の状態は非公開になっていますので、ドロップダウンリストから公開を選び、アクセスレベルが Public になっていることを確認した上で、保存してください。

イメージ	表示状態	メタデータ
状態:	非公開	
アクセスレベル:	Public	
執筆者別名:		
並び順:	1 (テストニュース)	
公開開始日:	2007-10-04 00:43:49	
公開終了日:	Never	
フロントページに表示:	<input type="checkbox"/>	

さて、これで公開をし、公開日を過ぎていたので、ゲストなどでページを確認すると、このテストニュースがトップの最新記事として表示されるているのが分かります。

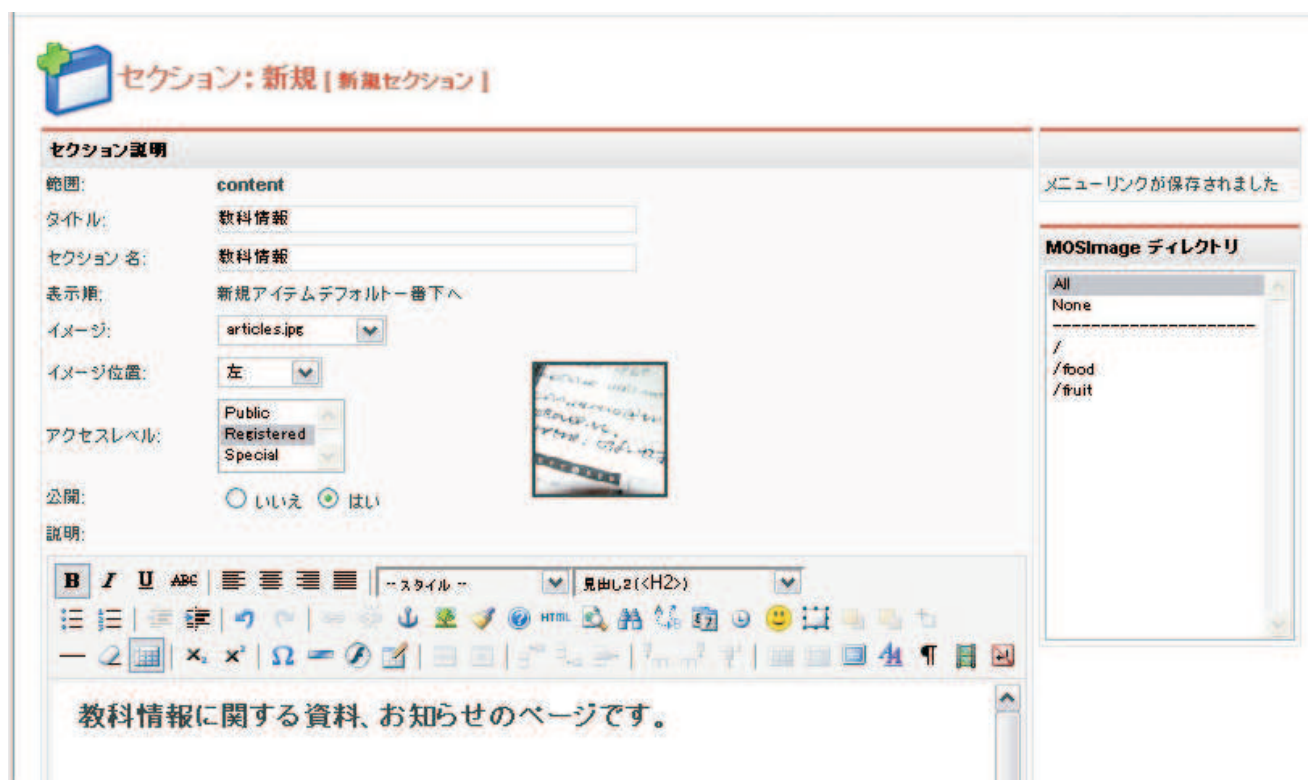
3.2 新しいページとメニュー

さて、ここまでで記事の投稿と公開の方法は分かりましたので、次は新しいページの作り方について学びましょう。こうしたコンテンツは、Joomla では分類をして管理することになっています。分類は必ず二層の構造を持っており、大分類のセクションと小分類のカテゴリーに分かれています。そして、こうした分類の作成は、管理者の権限でないと出来ないようになっていますので、まず、管理者権限で分類の作成を行ってみましょう。

トップのコントロールパネルで、セクション管理を選ぶと



セクションのリスト画面になりますので、新規ボタンを押して新しく作成します。新規セクションでは、タイトル、セクション名を入力し、アクセスレベルを選択しますが、ここではアクセスレベルを **Registered** に見ましよう。当然、公開をチェックし、適当な説明を入れ、最後に保存をします。



これで、セクション管理のリストに新しくセクションが追加されますので、Home メニューに戻り、今度は同じように新しくカテゴリを新規に作成します。セクションとの違いは、親となるセクションを決め

る点にあります。

カテゴリ: 新規 [Content:]

カテゴリ詳細

カテゴリタイトル: 行事、日程などの予定

カテゴリ名: 予定

セクション: 教科情報

表示順: 新規アイテムデフォルト一番下へ

イメージ: taking_notes.jpg

イメージ位置: 左

アクセスレベル: Public, Registered, Special

公開: いいえ はい

説明:

行事や日程などの提案、予定など。

(先と同様に **Registered** にしておいて下さい)

更に、もう一つ程度同じセクションに属する別のカテゴリを作成しておきましょう (これも **Registered** で)。

さて、この状態で新しいコンテンツを登録することが出来るようになっており、従って記者は記事を投稿出来るようになっていました。しかし、残念ながら、この分類へのアクセス方法がまだありません。そこで、メニューにこの分類へのリンクを作成することにしましょう。

まず、再びセクション管理に戻って、既に登録したセクション (例えば教科情報) をクリックし、編集をします。先程とは違って、今度は右側のメニューリンクというペインに幾つかの項目があります。

ここでは、**mainmenu** を選択し (メインメニューのことです)、メニュータイプは **セクションリスト** を、既存のメニューリンクには教科情報と入力し、真下にあるメニュー作成ボタンを押してから、セクションを保存します。

さて、Publisher ユーザなどでログインしてみると、新たに新しいメニューがトップページに追加されています。



このリンクをたどると、以下のように新しいページになります。



記事の投稿が出来る Publisher に入っているために、New... という文字とアイコンがあります。これをクリックすると、記事の作成画面に移ります。

Home • 教科情報

教科情報 / 追加 コンテンツ [Info]

タイトル:
明日のパソコン室での作業

カテゴリ:
- カテゴリ - 選択 -
- カテゴリ - 選択 -
システム情報
予定

パソコン室でインストール作業

- 日時 10月6日10時
- 予定 2時間
- 人員 金山、奥村、川崎
- 要望 もうちょっと人手が欲しい

先程との違いは、カテゴリの選択のドロップダウンリストに、作成した新しいカテゴリがある点です(ここでは、'システム情報'と'予定'を作成しています)。適当な記事を投稿し、公開(Publisher ですから、公開まで一度に出来ます)して見てください。但し、記事も **Registered** です。フロントページにもチェックを入れておいて下さい。

さて、Homeに戻ってみると、最新ニュースにこの記事が表示されていることが分かります。

<ul style="list-style-type: none"> ● ニュース ● Blog ● リンク ● お問合せ ● 検索 ● トピックス ● FAQ's ● ラッパー ● 教科情報 	<p>最新ニュース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 明日のパソコン室での作業 ● テストニュース ● ニュース速報 3 ● ニュース速報 1 ● ニュース速報 2 	<p>人気記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Example FAQ Item 2 ● Example FAQ Item 1 ● Example News Item 4 ● Example News Item 1 ● テストニュース
	Home	
	<p>明日のパソコン室での作業 </p> <p>作者 金山 2007/10/04 Thursday 01:02:06 JST</p>	
	<p>パソコン室でインストール作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時 10月6日10時 ● 予定 2時間 ● 人員 金山、奥村、川崎 ● 要望 もうちょっと人手が欲しい 	
	<p>ユーザメニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザ詳細 ● ニュース投稿 ● リンク登録 ● アイテムCheck-In 	

このように新しく作ったカテゴリーやセクションへの記事であっても、記事自体にトップへの表示チェックを作れば、最新記事としてトップページから見る事が出来る訳です。当然、チェックを入れなければ、セクションのページからしか見ることが出来ません。

実際に、今度はフロントページに表示するチェックを入れない記事を作成して投稿、公開をしてみてください。今度は、トップには何も表示されず、セクションのページの中からのみ見ることが出来ます。

一方、これまでの記事は全て **Registered** で行って来ましたので、ゲストで試しにこれらのページを見てみてください。メニューボタン自体はメインメニューに作成したので、ゲストにもボタンは表示されていますが、そのボタンを押すと以下ようになります。

<ul style="list-style-type: none"> ● ニュース ● Blog ● リンク ● お問合せ ● 検索 	<p>Home ● 教科情報</p>
	<p>このページを閲覧する権限がありません ログインしてください</p>

このように権限がなければ、リンクはあっても入れないようになっています。但し、記事が Public 状態で、しかもフロントページに表示となっていると、この限りではありません。

勿論、ゲストユーザがメニュー自体を見ることが出来たのは、このセクションへのリンクをメインメニュー (mainmenu) に登録したからです。Registered にしたセクションやカテゴリーならば、usermenu に登録しておけば、ゲストにはメニュー自体が見えないことになり、より好ましいのは言うまでもありません。

このように部門別のセクションやカテゴリを作成しておけば、その部門の中で記事を掲載したりすることが出来るようになります。勿論、これだけではなく、もっと一般的なリソース自体の管理も出来るようになっていますが、それにはファイル管理のためのエクステンションを導入する方が便利でしょう。

3.3 ページの要素とレイアウトとの関係

サンプルのトップページには様々な部品が並べられています。既に、メニューについては大体の感じは掴めたと思いますので、メニューの項目を増減させることは出来るかと思います。また、既存の mainmenu や、usremenu などの管理は、コントロールパネルのメニュー管理で行いますが、それらが実際にどこに表示されるのかは、テンプレートが担っています。

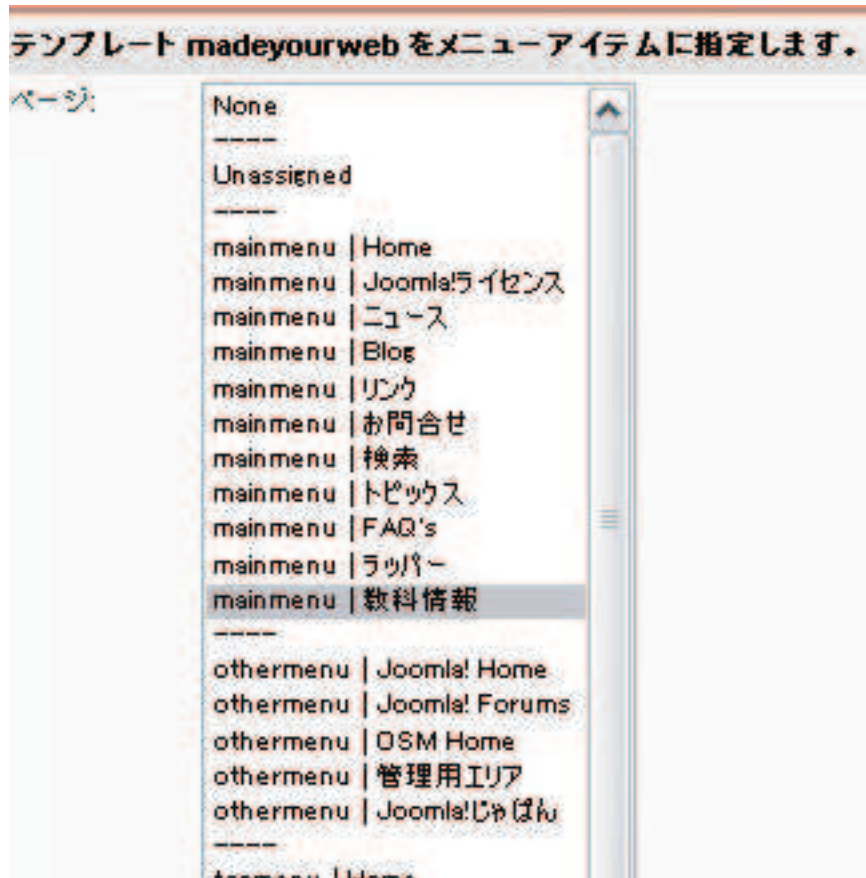
テンプレートは、CSS と HTML で書かれており、管理画面の上部メニューの [サイト](#) → [テンプレート管理](#) → [サイトテンプレート管理](#) で管理しています。

#	名前	デフォルト	指定	作者	バージョン	日時	作者URL
1	madeyourweb	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Marc Hinse	1.3	15/09/2005	http://www.madeyourweb.com
2	rhuk_solarflare_j	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	rhuk	2.2	10/20/05	http://www.rocketheme.com

<< 最初 < 前へ 1次へ > 最後 >>

ここで、デフォルトとなっているテンプレートがフロントページで使われているテンプレートです。テンプレートはフリー、商用ともに様々なものが作成されていますので、それらを入手して使うのが簡単でしょう (インストールは上部メニューのインストーラから行います)。また、先に紹介したようにセクションやカテゴリにテンプレートを適用することも出来ます。例えば、デフォルトで用意されている madeyourweb テンプレートを教科情報カテゴリに適用して見ましょう。

まず、madeyourweb にチェックを入れてから、割り当てボタンを押します。すると、以下のような画面になりますので、このテンプレートを適用するメニューアイテムを選択し (ここでは教科情報を選びます)、保存します。



すると、先の教科情報のページが今度は以下のようなページとして見る事が出来ます。



このようにページのデザインとコンテンツが完全に分離されているために、簡単にデザインのみを変更することが出来るようになっている訳です。

次に、フロントページにある他の要素について簡単に見てみましょう。

例えば、右側に配置されている投票は、モジュールによって実現されています。モジュールは、様々な投票のコンテンツを管理しているので、モジュールの管理とモジュールが管理しているコンテンツの管理

とは分けて考える必要があります。管理画面では、これらを上部メニューのコンポーネントでモジュールが管理するコンテンツを、モジュールでモジュール自体を管理しています。モジュールには、サイトの見える部分に作用するサイトモジュールと、管理のために必要な 管理モジュール に分かれています。

サイトモジュールを選択すると、以下のようなモジュールのリスト画面に移ります。



#	<input type="checkbox"/> モジュール名	公開	表示順 編集	表示順	アクセス	ポジション	ページ	ID	タイプ
1	<input type="checkbox"/> バナー			1	Public	banner	すべて	18	mod_banners
2	<input type="checkbox"/> メインメニュー			1	Public	left	すべて	3	mod_mainmenu
3	<input type="checkbox"/> ユーザメニュー			2	Registered	left	すべて	2	mod_mainmenu
4	<input type="checkbox"/> 他のメニュー			2	Public	left	すべて	31	mod_mainmenu
5	<input type="checkbox"/> ログインフォーム			3	Public	left	様々	4	mod_login
6	<input type="checkbox"/> RSS配信			4	Public	left	様々	5	mod_rssfeed
7	<input type="checkbox"/> 統計			4	Public	left	無し	7	mod_stats
8	<input type="checkbox"/> テンプレートチェンジャー			6	Public	left	様々	10	mod_templatechooser
9	<input type="checkbox"/> アーカイブ			7	Public	left	無し	11	mod_archive
10	<input type="checkbox"/> セクション			8	Public	left	無し	12	mod_sections
11	<input type="checkbox"/> 関連項目			9	Public	left	無し	14	mod_related_items
12	<input type="checkbox"/> 裹込			10	Public	left	無し	32	mod_wrapper
13	<input type="checkbox"/> 裹込			10	Public	left	無し	45	mod_wrapper
14	<input type="checkbox"/> 投票			1	Public	right	無し	1	mod_poll
15	<input type="checkbox"/> オンライン状況			2	Public	right	様々	8	mod_whosonline

この中から、「投票」をクリックし、編集してみましょう。



サイトモジュール: 編集 [投票]

詳細

タイトル:

タイトル表示: いいえ はい

ポジション:

モジュール表示順:

アクセスレベル:

公開: いいえ はい

ID: 1

説明: このモジュールは投票コンポーネントで設定された投票を表示します。コンポーネントがメニューアイテムと投票間のリンクをサポートしている所が他のモジュール違います

パラメータ

キャッシュ: No Yes

モジュールクラス:

ページ/アイテム

メニューアイテムリンク:

- All
-
- None
-
- Unassigned
-
- main menu | Home
- main menu | Joomla!ライセンス
- main menu | ニュース
- main menu | Blog
- main menu | リンク
- main menu | お問い合わせ
- main menu | 検索
- main menu | トピックス
- main menu | FAQ's
- main menu | ラッパー
- main menu | 教科情報
-
- other menu | Joomla! Home
- other menu | Joomla! Forums
- other menu | DSM Home
- other menu | 管理用エリア
- other menu | Joomla!じゅぽん
-
- top menu | Home
-

この中で投票モジュールのページ中での位置を決めているのが、ポジションで右側を指定しています。次に、右側の中で何番目に表示されるのかを決めるのがモジュール順位で、投票は1位になっています。次に、投票モジュールがどのページに表示されるかを決めているのが、右側のリストで、mainmenuのHomeはトップページを意味しますから、トップの右側の一番目に来る(rightとテンプレートで指定された位置の中のという意味)訳です。という訳ですので、試しに **Unassigned** に指定して、保存した上で、別のブラウザでトップのページがどうなったかを見てみてください。今度は、投票が消えている事が分かります。



このようにページに配置されたモジュールはモジュール管理から配置を決定しています。但し、例えばバナーのようなモジュールの場合、テンプレートで中央少し上側の位置が確保されているために、単にバナーを配置しなければ、その場所が空白になってしまいます。このような場合には、きちんとテンプレート自体を変更してやらないといけませんので注意が必要です。

3.4 管理階層

最後に、Joomla の管理階層について少し触れておきましょう。

Joomla の管理階層は 3 層に分かれています。ユーザと同じように、高い層の管理者はその下の管理者の全ての権限を持っています。

3 つの層はそれぞれ以下のように分かれています。

- **Super Administrator**
- **Administrator**
- **Manager**

この中で最高位の SuperAdmin は、最初にインストールを行った admin がそうで、Administrator との違いはサイトメニューのグローバルコンフィグレーション、言語の管理、テンプレートの管理、競合の解決などだけですので、実質的な管理では Administrator と大きな違いはありません。一方、Manager はメディアの管理や、メニューアイテムの管理、セクション・カテゴリー、コンテンツの管理、フロントページの管理、アーカイブの管理などが出来ませんが、ゴミ箱の管理やメニュー管理、エクステンションのイン

ストールやアンインストールはできません。この辺りは少し Joomla の管理階層はあいまいであるように筆者は感じています。

という訳ですので、ほとんどの場合 SuperAdministrator は他に信頼のできる管理者がいれば、その人を Administrator にしておけば良いでしょう。なお、ユーザ管理は管理者はその階層に拘わらず出来ますが、自分の階層以上の地位を与えることは出来ません。つまり、Manager が別の人を Administrator に引き上げることは出来ないという訳です。一方、自分と同じ地位まででしたら引き上げることは可能です。

また、全ての管理者は Publisher の権限も持っているので、管理職などが Publisher の権限を持つ必要がある時以外は、実際には Managerなどを割り当てる方が簡単でしょう。

こうした管理階層は、従来の blog ツールに比べれば十分複雑ですが、実際の現場での運用を考えると、これでも不十分であると思われる。しかし、こうした階層自体を自由に作れるようになっている CMS は、非常に複雑になりがちで、そういう意味ではある程度のところで簡略化することも、分かりやすさのためには必要なことであつたと思われる。

管理者の問題について触れましたが、Joomla の管理上の問題はむしろグループが単に5つしかない(ゲスト、登録者、記者、編集者、公開者) ことにあるだろうと思われる。実際、登録していても、この部分は見せたくないという場合は現場ではしばしばあることです。Joomla ではこうした要求に対しては、エクステンション(拡張機能)で対応するようになっており、実際 JUGA(Joomla User Group Acces) などグループのアクセスコントロールに関するだけでも8つのエクステンションが開発されています(エクステンション全体では商用も含めると2119もの数が開発されています)。

こうした階層化は実際の管理や、組織の実態に合わせる必要から生まれて来ている以上、どこかで必ず対応が必要とされる問題であり、技術的側面からではなく組織的側面からこうした問題を十分に考えて、システムを構築していく事が重要でしょう。

4 付録1 — FreeBSDでのインストール前準備

パッケージ(コンパイル済のもの)で以下のものをインストールします。

```
# pkg_add -r apache21
# pkg_add -r mysql50-client
# pkg_add -r mysql50-server
# pkg_add -r php4-mysql
```

FreeBSD では、php4 をポーツからインストールする必要があります。

```
# cd /usr/ports/lang/php4
# make
```

その際に表示されるオプションの選択画面で、Apache, Zlib, pcre, mbstring, xml がチェックされているか確認をしてください。

程なくすると、コンパイルが終了しますので、

```
# make install
```

でインストールされます。

同様に、php4-extensions が導入されていないければ、ポーツからそれもインストールします。

```
# cd /usr/ports/lang/php4-extensions
# make
# make install
```

で導入されます。

/etc/rc.conf に以下の設定を追加します。

```
apache21_enable="YES"
mysql_enable="YES"
hostname="localhost"
```

なお、最後の設定で、hostname は本当は DNS で決められた名前が良いのですが、テストのためにサーバを立ち上げるような時には、"localhost" にしておきます。

Joomla! は MySQL データベースを利用しますので、Joomla! がアクセス出来るデータベースとユーザを作成します(これは、配布ファイルの INSTALL.php にも書かれています)。

```
# mysqladmin -u root -p create Joomla
```

ここで、パスワードを要求されますが、デフォルトの設定ではパスワードは設定されていないので、単にリターンすれば良いでしょう(勿論、これはセキュリティ的には良くないので、実際に運用する際にはパスワードを設定しておかなければなりません)。

```
Enter password:
```

これで、データベース Joomla が出来たので、これを扱うユーザを作成します。

```
mysql -u root -p
```

ここでもパスワードを要求されますが、パスワードを設定していなければ、先と同じくリターンで構いません。すると、mysql のコマンドモニター に入ります。

```
mysql>
```

ここで以下のように入力します。

```
mysql> GRANT ALL PRIVILEGES ON Joomla.* TO joomla@localhost  
-> IDENTIFIED BY 'wakhok';
```

ここで、改行を入れても構いません(最後の';'を入力するまで一つのコマンド行として解釈されます)。タイプミスがなければ、以下のように表示されます。

```
Query OK, 0 rows affected (0.01 sec)
```

なお、最後にシングルクォートで囲まれた 'wakhok' はデータベースユーザ joomla のパスワードです。実際には、もっときちんとしたパスワードを入れるようにして下さい。

この設定を有効にするために、以下のコマンドを入力してデータベースの作成は終わりです。

```
mysql> flush privileges;  
...  
mysql> \q
```

すると、MySQL のモニターから出ます。

次に、/usr/local/etc/apache21/httpd.conf を以下のように修正します。(ServerName で検索すると、#でコメントアウトされていますから、その行をコピーして修正すれば良いでしょう。)

```
ServerName localhost:80
```

当然、DNS で正式な名称が与えられている場合には、その名前(例えば、joomla.wakhok.ac.jp)を指定します。

```
ServerName joomal.wakhok.ac.jp:80
```

同様に、以下の行を修正します(index.php を追加するだけ)。(これも、DirectoryIndex で検索すれば見わかります。

```
<IfModule dir_module>  
DirectoryIndex index.html index.htm index.php  
<\IfModule>
```

この設定は、index.php があればデフォルトでディレクトリ名などの代わりに動かすための設定ですので、Joomla! では必須です。

また、PHP のために以下の 2 行の設定を x-gzip のある行の下にでも追加してください(x-gzip は 3 箇所ありますが、どこの下に入れても同じです)。

```
AddType application/x-httpd-php .php
AddType application/x-httpd-php-source .phps
```

次に、PHP 自体の設定が必要です。これは、`/usr/local/etc/php.ini` に設定しますが、まずデフォルトの値を設定するためにサンプルファイルをコピーします。

```
# cd /usr/local/etc/
# cp php.ini-recommended php.ini
```

次に、`php.ini` を以下のように書き換えます。(この作業をしてなくても、Joomla! のインストーラを動かすと、以下の部分を変更するように注意されますので、その際に書き換えても構いません。)

```
; 編集前の php.ini
;magic_quotes_gpc = Off
...
;mbstring.internal_encoding = EUC-JP
...
;mbstring.http_input = auto
```

これを以下のように変更します。

```
; 編集後の php.ini
magic_quotes_gpc = ON
...
mbstring.internal_encoding = UTF-8
...
mbstring.http_input = auto
```

最後に、Joomla! の配布ファイルを Apache のデータディレクトリに展開します。但し、ここではウェブのルートディレクトリに展開することで、Joomla! のサイトを作ることになります。

まず、Joomla! じゃぱんからダウンロードした zip ファイルを適当なディレクトリで展開します (例えば、`/home/joomla/files` で展開します)。

```
# cd /home/joomla/files
# ls
    joomla_1_0_12JP_Stable.zip
# unzip joomla_1_0_12JP_Stable.zip
# ls
    joomla_1_0_12JP_Stable joomla_1_0_12JP_Stable.zip
```

なお、1.0.13JP が既に出っていますが、この zip ファイルはどうも圧縮時に何らかの手違いがあったようで、現時点ではうまく解凍できません (重要なファイルが欠落している)。そこで、ここでは 1.0.12JP を利用します。本家に 1.0.13 はありますが、1.0.13 に対応した日本語言語ファイルがまだ本家にも登録されていないようですので、もう少し待つ必要があるでしょう。

次に、展開したファイルをウェブの `data` ディレクトリに移します。

```
# cd joomla_1_0_12JP_Stable
# rm /usr/local/www/data
# mkdir /usr/local/www/data
# mv /* /usr/local/www/data
# cd /usr/local/www/data
# touch configurations.php
# chown -R www:www /*
```

展開したファイルのうち、globals.php を以下のように編集します。(これも、やっていないとインストールの際に注意されますので、後で行っても構いません。)

```
訂正前 define( 'RG_EMULATION', 1 );
訂正後 define( 'RG_EMULATION', 0 );
```

これらの作業全てが終了したら、Apache を再起動します。

```
# /usr/local/etc/rc.d/apache21.sh restart
```

もし、上の編集作業などのどれかを忘れていて、Joomla!インストーラで警告が出た場合には、再度 Apache の再起動が必要ですので、注意して下さい。

5 付録2 — 設置前チェックで警告が出る場合の対処

まず、設置前チェックの中で以下のような場合には、説明にあるとおり /usr/local/www/data/configuration.php にウェブサーバが書き込めない場合ですので、例えば www:www などのオーナー、グループに変更します。これは、前の付録1の操作で既に変更している筈で、/usr/local/www/data の下は全て http サーバのユーザパーミッションである www (グループも www) に変更しているの、全て Writeable になっていなければなりません。もし、なっていないならば、先の /usr/local/www/data に対する chown のコマンドが実行されていないので、それを実行して下さい。

設置前チェック:

<p>これらのアイテムが赤く強調されているなら修正して下さい。</p> <p>修正しないとJoomlaのインストールに失敗する場合があります。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">PHP version >= 4.1.0</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">Yes</td> </tr> <tr> <td>- zlib compression support</td> <td style="text-align: right;">利用可能</td> </tr> <tr> <td>- XML support</td> <td style="text-align: right;">利用可能</td> </tr> <tr> <td>- MySQL support</td> <td style="text-align: right;">利用可能</td> </tr> <tr> <td>configuration.php</td> <td style="text-align: right;">書き込み不可</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px 0 0 20px;">インストール終了後に表示される設定ファイルをコピーしてアップロードするならインストールを継続できます。</td> </tr> <tr> <td>- マルチバイト サポート</td> <td style="text-align: right;">利用可能</td> </tr> <tr> <td>Session save path</td> <td style="text-align: right;">書き込み可</td> </tr> <tr> <td>tmp</td> <td></td> </tr> </table>	PHP version >= 4.1.0	Yes	- zlib compression support	利用可能	- XML support	利用可能	- MySQL support	利用可能	configuration.php	書き込み不可	インストール終了後に表示される設定ファイルをコピーしてアップロードするならインストールを継続できます。		- マルチバイト サポート	利用可能	Session save path	書き込み可	tmp	
PHP version >= 4.1.0	Yes																		
- zlib compression support	利用可能																		
- XML support	利用可能																		
- MySQL support	利用可能																		
configuration.php	書き込み不可																		
インストール終了後に表示される設定ファイルをコピーしてアップロードするならインストールを継続できます。																			
- マルチバイト サポート	利用可能																		
Session save path	書き込み可																		
tmp																			

次に、お勧め設定の中で、必要な項目が設定されていない場合には以下のように表示されますので、該当項目の編集をし、Apache をリスタートして下さい。(/usr/local/etc/php.ini や、 /usr/local/www/data/globals.php などをご指示されたように書き換える。)

セキュリティチェック:

! Joomla! RG_EMULATION設定は 'ON' になっています 'OFF' へ変更して下さい。
互換性の為globals.phpファイルのデフォルトは'ON'になっています。

PHPサーバ設定がセキュリティ上の問題を含んでいます。以下の項目を変更して下さい:

Please check the [Official Joomla! Server Security post](#) for more information.
日本語での投稿は[こちら](#)

お勧め設定:

Joomla!を正常に動作させる為にこれらの設定が 推奨されています。

しかし完全に同じではなくても Joomla!は動作するかもしれませんが、**JP版は奇文字のディレクティブを同じに設定しなければ正常動作しません。**

ディレクティブ	お勧め	現在
Safe Mode:	OFF:	OFF
Display Errors:	ON:	ON
File Uploads:	ON:	ON
Magic Quotes GPC:	ON:	ON
Magic Quotes Runtime:	OFF:	OFF
Register Globals:	OFF:	OFF
Output Buffering:	OFF:	OFF
Session auto start:	OFF:	OFF
Register Globals Emulation:	OFF:	ON
mbstring.language:	neutral:	neutral
mbstring.internal_encoding:	UTF-8:	
mbstring.encoding_translation:	OFF:	off
mbstring.http_input:	auto:	pass
mbstring.http_output:	pass:	pass

PHPサーバ設定がJoomla!を日本語環境で使用する場合の問題を含んでいます。以下の項目を変更して下さい:

- !** mbstring.internal_encodingがになっています UTF-8に設定して下さい
- !** mbstring.http_inputがpassになっています 'auto'に設定して下さい

それらの修正を全て行ったら、画面右上にある”もう一度チェック”ボタンを押して見ましょう。今度は全ての項目で問題の表示がなくなっている筈です。